

昭和46年度

教科選択の手引

東京都立新宿高等学校

は　じ　め　に

この小冊子は、昭和46年度の本校の教育課程の概要を示し、自由選択科目を選択するに当たって参考になると思われることがらを簡単にまとめた手引書である。自由選択科目は主として、諸君の特性をより生かし、学習をより深めることを願って設けられたものであるから、この趣旨に沿って各自に適した講座を自主的に選ぶように心がけてほしい。

<教育課程全般にわたる留意事項>

1. 各学年とも、教育課程編成表に定められた教科・科目を

第1学年では32単位（ほかに特別教育活動2単位）

第2学年では30単位以上（ほかに特別教育活動2単位）

第3学年では23単位以上（ほかに特別教育活動2単位）

履修しなければならない。

2. 卒業のために必要な修得単位数は、下記のものを含めて85単位以上である。

国　語：現代国語（7）、古典乙Ⅰ（5）

社　会：倫理社会（2）、政治経済（2）、他に2科目

教　学：数　学Ⅰ（5）

理　科：2　科　目

保健体育：体育（男子9、女子7）、保健（2）

外　国　語：英　語（6）

3. 学年末の評価が1のものについては当該教科・科目の単位修得は認められない。また、上記2に該当する科目の単位修得を認められない者および単位不認定の科目が3科目以上になるものは留年とする。

遅刻数2回をもって欠課時数1に換算する。なお、欠課時数が出席すべき時数の3分の1を越えるものについては、単位を認定しないことがある。

4. 1週間あたりの授業時間数は最大限34時間とする。この中には特別教育活動のための時間が2時間含まれている。（ただし、第2学年の第2外国語は34時間の枠外である。）したがって空き時間は最大限第2学年では2時間、第3学年では9時間あり、この時間が自由選択科

目の履修に宛てられる。基礎的学習を行なう第1学年には自由選択科目の講座を置かない。
空き時間ができた場合は、その時間を有効に活用するために計画をたてるなどして無為にすごさないようにすること。

＜自由選択するに当たっての留意事項＞

1. 選択に当たって、迷ったり疑問に思うことがあれば、担任の先生に相談したり、教科担当の先生に直接質問するなどして理解を深め、十分納得したうえで選択すること。
2. 選択した以上は、途中で勝手に投げ出さず、最後までやりとげるよう最善の努力をばらうこと。
3. 選択希望調査の結果、希望者数が少ない場合は、その講座を置かないことがある。また、希望者が特定の講座に片寄った場合には、人数を調整して、第2志望の講座などに廻すことがある。
4. 卒業に必要な修得単位数に注意し、とくに3年生では、既に修得した単位数を考慮して、自由選択科目数を決めることが望ましい。

④ 履修と修得

履修すべき科目とは、学校が生徒全員に履修させなければならない科目である。

修得すべき科目とは、すべての生徒が単位の修得を認定されなければ卒業を認められない科目である。

昭和46年度 教育課程編成表

教科	科目	1 年	2 年	3 年
国 語	現代国語	3	2	2
	古典乙Ⅰ	2	3	
	古典乙Ⅱ			$\left[\begin{matrix} \alpha(3) \\ \beta(3) \end{matrix} \right]$
社 会	倫理社会		2	
	政治経済			2
	日本史			4
	世界史B		2	2 (1)
数 学	地 理 B	4		
	数 学 Ⅰ	5	(2)	
	数 学 Ⅱ B		5	$\alpha(3)$ $\beta(3)$ $\gamma(6)$
理 科	数 学 Ⅲ			(2)
	物 理 B		3	
	化 学 B		2	2
	生 物	4		
保 健 体 育	地 学	2		
	体 育	男 3 女 2	3 3	3 2
	保 健	男 1 女 1	1 1	1
芸 術	音 楽	(2)	$\left[\begin{matrix} \alpha(2) \\ \beta(2) \end{matrix} \right]$	$\alpha(2)$ $\beta(4)$
	美 術	(2)	(2)	(2)
	工 芸	(2)	(2)	(2)
	書 道	(2)	(2)	(2)
外 国 語				$\alpha(2)$ $\beta(2)$ $\gamma(2)$ $\delta(2)$
	英 語 B	6	5 (2)	5
	独 語		(2)	(2)
	仏 語		(2)	(2)
家 女 の 庭 子 み	家 庭 一 般	2	(2)	
	食 物			(2)
	小 計	3 2	3 0 ~ 3 4	2 3 ~ 3 2
特 活	H R	1	1	1
	ク ラ ブ	1	1	1
	合 計	3 4	3 2 ~ 3 6	2 5 ~ 3 4

無印は必修, ()は選択必修, { }は自由選択, $\left[\begin{matrix} \alpha \\ \beta \end{matrix} \right]$ はこのうちの1科目だけの選択

(参考資料)

教 科	科 目	昭和46年度 3 年 生			昭和46年度 2 年 生	
		44年 1 年	45年 2 年	46年 3 年	45年 1 年	46年 2 年
国 語	現代国語	3	2	2	3	2
	古典乙Ⅰ	2	3		2	3
	古典乙Ⅱ			$\left[\begin{matrix} \alpha(3) \\ \beta(3) \end{matrix} \right]$		
社 会	倫理社会		2			2
	政治経済			2		
	日本史			4		
	世界史B		2	2 [1]		2
数 学	地理B	4			4	
	数学Ⅰ	6	[2]		5	[2]
	数学ⅡB		5	$\alpha(3)$ $\beta(3)$ $\gamma(6)$		5
理 科	数学Ⅲ					
	物理B		3	[2]		3
	化学B		2	2		2
	生物学	4			4	
保 健 体 育	地学	2			2	
	体育	3	3	3	3	3
	保健	2	3	2	2	3
	男女男女	1	1		1	1
芸 術	男女男女		1	1		1
	音楽	[2]	[2]	$\alpha(2)$ $\beta(4)$	[2]	$\left[\begin{matrix} \alpha(2) \\ \beta(2) \end{matrix} \right]$
	美術	[2]	[2]	[2]	[2]	[2]
	工芸	[2]	[2]	[2]	[2]	[2]
外 国 語	書道	[2]	[2]	[2]	[2]	[2]
	英語B	6	5 [2]	5	6	5 [2]
	独語		[2]	[2]		[2]
	仏語		[2]	[2]		[2]
家 女 の 庭 子 み	一般食物	2	[2]		2	[2]
	小計	33	30~34	23~32	32	30~34
特 活	II R	1	1	1	1	1
	クラブ	1	1	1	1	1
総 計		35	32~36	25~34	34	32~36

無印は必修，()は選択必修，[]は自由選択， $\left[\begin{matrix} () \\ () \end{matrix} \right]$ はこのうち1科目だけの選択

科目選択のために (3年生用)

1. 必修として選択履修しなければならない科目

国語 古典乙Ⅱ (3単位)

古典乙Ⅰで学習した内容にもとづき、古典を讀んで日本人の思想・感情を広い視野からとらえるようにつとめ、ものの考え方・感じ方を深めることをねらいとしているが、46年度は次の二種類の講座を置き、それぞれについて本人の興味・適性・将来の志望に応じ、どちらかを選択すること。

α講座 3単位 (古文2単位、漢文1単位)

乙Ⅰ・乙Ⅱの教材を幅広く使用し、文法的基礎能力を身につけながら、読解力を充実させる。

β講座 3単位 (古文2単位、漢文1単位)

乙Ⅱに該当する教材、例えば「枕草子」「源氏物語」などを中心とし、作品の鑑賞や批判を通して、古典とはなにかについて考察を重ねる。

2. 自由に選択できる科目

英語 英語の自由選択の内容は次の四種類である。

1. Rapid Reading (速読) (2単位) ……〔略称α〕

比較的平易な英語で書かれた教材を使用して、一定時間内に相当量の英文を読む練習をする。

45年度使用教材

C. Dickens : David Copperfield (原作を書きなおしたもの)

2. Intensive Reading (精読) (2単位) ……〔略称β〕

Essayなどを材料にしてParagraphごとの大意をつかむ練習をする。

45年度使用教材

A. G. Gardiner : Alpha of the Plough

B. Russell : Portraits from Memory and other Essays

3. Free Composition (自由作文) (2単位) ……〔略称γ〕

いわゆる和文英訳でなく、自分の考え方などを自分の英語で表現する態度を養う。

45年度は、あらかじめテーマを与えられ、それについて考えておき、授業時間中に英文を書き、添削をして返すという方法を実施した。

4. Conversation (会話) (2単位) ……〔略称 δ 〕

だいたい次のような内容について練習する

- a. 会話の基礎
- b. 個人の Speech とその内容に関する discussion
- c. Hearing (Story を聞いて、その内容に関する質問に答える)
- d. 会話テープを聞き、暗誦する。
- e. 英語のゲーム (Twenty Questions のやり方など)

独 語 (2単位)

中級の読み物を読む

仏 語 (2単位)

中級の読み物を読む

〔 備 考 〕

英語は、 α —2 講座、 β —3 講座、 γ —1 講座、 δ —1 講座を置き、講座数はこれ以上ふやさないで、場合によっては人数に制限を加えることがあることをあらかじめ諒承してもらいたい。

数 学 次の4種類の講座を置く

α 講座 (3単位)

数学Ⅲを履修する

β 講座 (3単位)

数学Ⅱを履修する

γ 講座 (6単位)

数学Ⅲ (3単位) と数学Ⅱ (3単位) とを履修する

数学Ⅲの内容は、数学Ⅱの微積分を更に発展させた内容と、将来文科方面に進む場合にも必要となる確率や統計が含まれている。 α 、 γ とも同程度の内容を取り扱う予定であ

る。

β 、 γ の数学Ⅱの内容は、数Ⅰを基礎にして、集合、方程式の理論、対数、複素数、ベクトル、二次曲線、数列、および微積分の応用などを含み、思考力、判断力、応用力を身につけることを考えている。

物 理 （2単位）

電気と磁気（約15時間）、電磁誘導と電磁波（約12時間）、物質の構造（約15時間）、光とレンズ（約8時間）を内容とする。内容に比して時間数が少ないので、2年時よりは速度をかなり速くする。十分復習することを望んでいる。問題演習を課す。理由なく欠席したり、遅刻の多いものや、レポートを提出しないものには単位を認定しないことがある。

世界史 「現代史」（1単位）

1870年代いわゆる帝国主義時代から現代に至る過程を研究する。

家 庭 「食物」（2単位）（女子のみ）

家庭一般の食生活を発展させ、実習を主として高度な調理技術や特別食の献立を研究する。その他物価問題、有害食品など家庭経営上の新しい問題を取り上げて研究討論する。被服を希望する人は別に考慮する。

音 楽 次の2種類の講座を置く。

α 講座（2単位）

キーボード和声、小アンサンブルを中心とした一般的な音楽である。

β 講座（4単位）

ソルフェージュ中心の授業で、基礎的な読譜、聴音、楽典の練習課題を実施する。内容的には α とは違って専門的である。

美 術 （2単位）

一人一人の志向と特性に応じて指導する

工 芸 （2単位）

木工を通じて造形一般の技術を養う

書 道 （2単位）

2年の基礎の上になって更に深く学習する。

〔注 意〕

数学は α , β , γ のうち2つ以上を選ぶことはできない。

音楽 α , 音楽 β , 美術, 工芸, 書道, 独語, 仏語, 食物のうち2つ以上を選ぶことはできない。

科目選択のために (2年生用)

1. 必修として選択履修しなければならない科目

家庭 「家庭一般」(2単位) (女子のみ)

一年にひきつづき家庭生活に必要な基礎的知識、技術を学ぶ。

1. 食生活については調理実習を主として、合理的な食生活の経営について学ぶ。
2. 衣生活では被服材料、被服計画、被服整理などの基礎的な知識について学ぶと共に、正しい衣生活について考える。
被服製作は自由教材で一点完成する。
3. 保育では現代のいろいろな問題を検討すると共に、人間生活、家庭生活の基本について考える。

音楽 (2単位)

- α講座 一年の基礎の上に立ち、混声合唱、アルトリコーダー奏法、小アンサンブルを中心とした授業を行なう。
- β講座 バイオリン、ピアノ、チェロ、ベースによる弦楽合奏を行なう。初心者でもよいが、20名を限度とする。

美術 (2単位)

一年の授業を土台にして、それぞれの個性を高める。

工芸 (2単位)

木工を通じて造形一般の技術を養う。

書道 (2単位)

一年において学習した基礎の上に立ち、一層深く研究学習し表現力を養う。

- A. 表現：感興や用途に応じる表現ができるようにする。
- B. 鑑賞：1年の時より一層深く味わうようにする。
- C. 理解：書の文化的意義、書と現代生活、書の変遷と動向

〔注 意〕

上の家庭、音楽 α 、音楽 β 、美術、工芸、書道のうちどれか一科目を必ず選択し、履修しなければならない。

2. 自由に選択できる科目

英 語 （2単位）

Essay などの材料を通じて、英米の風俗・習慣、ものの考え方などを理解するとともに、標準的な現代英語の語法などを勉強する。

4 6 年度に使用する教材は未定である。参考までに 4 5 年度のものをあげておく。

J. Kirkup 「The voice of Britain」

C. Doty & J. Ross 「Life in the U. S. A.」

独 語 （2単位）

初級文法および簡単な読物

仏 語 （2単位）

初級文法および簡単な読物

数 学 「数学Ⅰ演習」（2単位）

- 代数の構造……集合の概念を用いて、代数の構造を研究する。
- 方程式と関数……方程式の理論を中心に数学Ⅰの内容を深める。また関数の概念をひろめ、関数を総合的に研究する。
- 図形の研究……平面図形、空間図形の性質を、解析的にまた幾何的に考察し、図形に対する柔軟性のある思考態度を養う。

以上の内容を九月ごろまでを目途として研究する。十月以降は、上記の内容の上になって複素数、ベクトル、二次曲線等について研究する予定である。

教材は教科書のはかに別に定める。なお評価はテスト、発表（研究発表および問題演習）などを通して総合的に行ない、単位は数学Ⅰの増加単位とする。

〔注 意〕 英語と数学の両方を選択することはできない。また、独語と仏語についても同様である。

科目選択のために (1年生用)

第1学年には必修として選択履修しなければならない科目として次のものがある。このうち1科目を選ばなければならない。

音楽 (2単位)

次の内容を学ぶ

1. リズム練習を主とした音楽の反応力を高める基礎的な学習
2. 混声四部合唱
3. リコーダーによるバロック器楽曲の奏法
4. 音楽史

美術 (2単位)

油絵を主体とする。とくに構成と色彩の関係を指導する。

工芸 (2単位)

木工を通じて造形一般の技術を養う

書道 (2単位)

A. 書写能力を高め、書の表現力を養うため表現の理法や技術を修得する。

1. 全体のまとめ方
2. 字形のとり方
3. 用筆、運筆(点や線の書き方)

B. すぐれた書に親しみ、書の鑑賞力を養う

1. 書の性情
2. 全体の構成美
3. 文字の形態美
4. 線美
5. 墨色美

昭和46年度 使用教科書

教科	科目名	教科書名	発行者	使用学年
国語	現代国語	現代国語三訂版一	明治	1
	"	新訂版現代国語二	大日本	2
	"	新版現代国語三	"	3
	古典乙	高等学校古典乙Ⅰ古文Ⅰ三訂版	角川	1
	"	新訂漢文乙Ⅰ	大日本	1
	"	高等学校古典乙Ⅰ古文Ⅱ三訂版	角川	2
	"	高等学校古典乙Ⅱ古文Ⅲ三訂版	"	3
	"	新訂漢文Ⅱ(古典乙Ⅱ)	東書	3
社会	倫理・社会	最新版倫理社会	中教	2
	政治・経済	高等学校政治経済三訂版	角川	3
	日本史	新編高等学校日本史	好学	3
	世界史B	詳説世界史(再訂版)	山川	2
	地理B	最新版地理B	中教	1
	地図	新詳高等地図三訂版	帝國	1
数学	数学Ⅰ	高等学校数学Ⅰ(新訂版)	書院	1
	数学ⅡB	高等学校数学ⅡB(新訂版)	"	2
	数学Ⅲ	高等学校数学Ⅲ(改訂版)	"	3
理科	物理B	物理三訂版	三省堂	2・3
	化学B	化学B	東書	2・3
	生物	生物三訂版	三省堂	1
	地学	最新版地学	中教	1
保体	保健体育	新訂保健体育	開隆堂	1
芸術	音楽Ⅰ	高校の音楽Ⅰ二訂	友社	1
	音楽Ⅱ	高校の音楽Ⅱ改訂	"	2・3
	美術Ⅰ	美術Ⅰ	光村	1
	工芸Ⅰ	デザイン	日文	1
	書道Ⅰ	改訂版書の美Ⅰ	教図研	1
	書道Ⅱ	改訂版書の美Ⅱ	"	2
外国語	英語B(読本)	The New World Readers New Ed.1	文英堂	1
	"	The More Deeply You Read 2 revised	開拓	2
	"	The New Age Readers 3	研究社	3
	英語B(作文文法)	A Better Guide to English Usage 1	開拓	1
	"	The New Age Grammar & Composition 2	研究社	2
	"	A Better Guide to English Usage 3	開拓	3
家庭	家庭	家庭一般最新版	中教	1(女)

昭和47年度

教科選択の手引

東京都立新宿高等学校

は　じ　め　に

この小冊子は、昭和47年度の本校の教育課程の概要を示し、選択科目を選択するに当って参考になると思われることがらを簡単にまとめた手引書である。選択科目には必修と自由とがあるが、自由選択科目は主として、諸君の特性をより生かし、学習をより深めることを願って設けられたものである。この趣旨に沿って各自に適した講座を自主的に選ぶように心がけてほしい。

< 教育課程全般にわたる留意事項 >

1. 各学年とも、教育課程編成表に定められた教科・科目を

第1学年では32単位（ほかに特別教育活動2単位）

第2学年では30単位以上（ほかに特別教育活動2単位）

第3学年では23単位以上（ほかに特別教育活動2単位）

履修しなければならない。

2. 卒業のために必要な修得単位数は、下記のものを含めて85単位以上である。（ただし、H・R、特活はのぞく）

国　語：現代国語（7）、古典乙Ⅰ（5）

社　会：倫理社会（2）、政治経済（2）、他に2科目

数　学：数　学Ⅰ（5）

理　科：2　科　目

保健体育：体育（男子9、女子7）、保健（2）、家庭（女子2）

外 国 語：英　語（6）

3. 学年末の評価が1のものについては当該教科・科目の単位修得は認められない。また、上記2に該当する科目の単位修得を認められない者および単位不認定の科目が3科目以上になるものは留年とする。

遅刻数2回をもって欠課時数1に換算する。なお、欠課時数が出席すべき時数の3分の1を越えるものについては、単位を認定しないことがある。

4. 1週間あたり授業時間数は最大限34時間とする。この中には特別教育活動のための時間が2時間含まれている。（ただし、第2学年の第2外国語は34時間の枠外である。）したがって空き時間は最大限第2学年では2時間、第3学年では9時間あり、この時間が自由選択科目の履修にあて

られる。基礎的学習を行なう第1学年には自由選択科目の講座を置かない。空き時間ができた場合は、その時間を有効に活用するために計画をたてるなどして無為に過ごさないようにすること。

＜自由選択するに当たっての留意事項＞

1. 選択に当たって、迷ったり疑問に思うことがあれば、担任の先生に相談したり、教科担当の先生に直接質問するなどして理解を深め、十分納得したうえで選択すること。
2. 選択した以上は、途中で勝手に投げ出さず、最後までやりとげるよう最善の努力をほらうこと。
3. 選択希望調査の結果、希望者が少ない場合は、その講座を置かないことがある。また、希望者が特定の講座に片寄った場合には、人数を調整して、第2志望の講座などに廻すことがある。
4. 卒業に必要な修得単位数に注意し、とくに3年生では、既に修得した単位数を考慮して、自由選択科目数を決めることが望ましい。

（註） 履修すべき科目と修得すべき科目

履修すべき科目とは、学校が生徒全員に履修させなければならない科目である。

修得すべき科目とは、すべての生徒が単位の修得を認定されなければ卒業を認められない科目である。

昭和47年度 教育課程編成表

教科	科目	1 年	2 年	3 年
国語	現代国語 古典乙Ⅰ	3 2	2 3	2 $\alpha(1)$
	古典乙Ⅱ			3 $\beta(1)$ γ δ
社会	倫理社会		2	
	政治経済			2
	日本史			4
	世界史 B		2	2 (1)
	地理 B	4		
数学	数学Ⅰ	5	(2)	$\alpha(3)$ $\beta(3)$
	数学Ⅱ B		5	$\alpha(6)$
	数学Ⅲ			
理科	物理 B		3	(2)
	化学 B	4	2	2
	生物	4		
	地学	2		
保健体育	体育 男	3	3	3
	体育 女	2	3	2
	保健 男	1	1	
	保健 女		1	1
芸術	音楽	(2)	$\alpha(2)$ $\beta(2)$	(2)
	美術	(2)	(2)	(2)
	工芸	(2)	(2)	(2)
	書道	(2)	(2)	(2)
外国語	英語 B	6	5 (2)	5 $\alpha(2)$ $\beta(2)$ $\gamma(2)$ $\delta(2)$
	独語		(2)	(2)
	仏語		(2)	(2)
家庭科 女子のみ	家庭一般 食物	2	(2)	
	小計	32	30~34	23~32
特活	H R	1	1	1
	クラブ	1	1	1
合 計		34	32~36	25~34

無印は必修、()は選択必修、[]は自由選択、{ }はこのうちの1科目だけの選択

〔参考資料〕

教 科	科 目	昭和47年度 3年生			昭和47年度 2年生	
		45年 1 年	46年 2 年	47年 3 年	46年 1 年	47年 2 年
国 語	現代国語	3	2	2 $\alpha[1]$	3	2
	古典乙Ⅰ	2	3		2	3
	古典乙Ⅱ			3 $\begin{matrix} \beta[1] \\ \gamma[1] \\ \delta[1] \end{matrix}$		
社 会	倫理社会		2			2
	政治経済			2		
	日本史			4		
	世界史B		2	2 [1]		2
数 学	地理B	4				
	数学Ⅰ	6	[2]		5	[2]
	数学ⅡB		5	$\beta[3]$		5
理 科	数学Ⅲ			$\begin{matrix} \alpha[3] \\ \gamma[6] \end{matrix}$		
	物理B		3	[2]		3
	化学B		2	2		2
	生物学	4			4	
保 健 体 育	地 学	2			2	
	体育		3	3	3	3
	男 女	3	3	2	2	3
	保健	2	1		1	1
芸 術	男 女	1	1	1		1
	音 楽	[2]	[2]	[2]	[2]	$\begin{matrix} (\alpha(2)) \\ (\beta(2)) \end{matrix}$
	美 術	[2]	[2]	[2]	[2]	[2]
	工 芸	[2]	[2]	[2]	[2]	[2]
外 国 語	書 道	[2]	[2]	[2]	[2]	[2]
	英 語 B	6	5 [2]	5 $\begin{matrix} \alpha(2) \\ \beta(2) \\ \gamma(2) \\ \delta(2) \end{matrix}$	6	5 [2]
	独 語		[2]	[2]		[2]
	仏 語		[2]	[2]		[2]
家 父 の 庭 子 み	一 般	2	[2]		2	[2]
	食 物					
小 計		33	30~34	23~32	32	30~34
	H R	1	1	1	1	1
	ク ラ ブ	1	1	1	1	1
総 計		35	32~36	25~34	34	32~36

無印は必修、()は選択必修、[]は自由選択、 $\begin{bmatrix} \quad \end{bmatrix}$ はこのうち1科目だけの選択

科目選択のために (3年生用)

47年度の3年生には下のような自由選択科目がある。

国語

① 文章構成法 (1単位) 中野先生担当 [略称…2]

諸君たちのもっとも不得手な作文について、徹底的に指導するが、人数に制限があり、約20名以内とする。単位は現国となる。

2. 大鏡講読 (1単位) 有元先生担当 [略称…β]

歴史物語への理解を深めると同時に基礎的語法についても指導する。

3. 源氏物語講読 (1単位) 佐藤先生担当 [略称…γ]

乙Ⅱの教科書と重複しないように編集されたテキストを用いて、源氏物語の全貌をできるだけとらえるよう講読する。

4. 漢詩の鑑賞 (1単位) 豊原先生担当 [略称…δ]

白楽天の詩を中心に、漢詩の精髓に触れるよう鑑賞を深める。

〔備考〕各講座とも1講座をおくが、同一時間内に平行して設置されることもありうるから、全講座選択することは不可能である。

英語 英語の自由選択の内容は次の四種類である。

1. Rapid Reading (速読) (2単位) [略称…α]

比較的平易な英語で書かれた教材を使用して、一定時間内に相当量の英文を読む練習をする。

46年度使用教材 1学期 G.C. Thornley: Easier Scientific English

2学期 -Orwell: Animal Farm (註なし, 原書)

3学期は授業時間がすくないため大学入試問題中「大意はあく」の問題をえらんで練習した。

② Intensive Reading (精読) (2単位) [略称…β]

Essayなどを材料にしてParagraphごとの大意をつかむ練習をする。

46年度使用教材

Orwell Lucas, Maugham, Chesterton, Priestley: Modern English Essays

Milne, Gardiner, Lynd: 随筆三人集

③ Free Composition (自由作文) (2単位) [略称…γ]

自分の考え方などを自分の英語で表現する力を養うことが主眼で、全体に対する説明のような授業ではなくて、なるべく個々の生徒が書いたものを添削批評し、個別に指導するように心がける。

4. Conversation (会話) (2単位) [略称… δ]

だいたい次のような内容について練習する。

- a. 英語の発音練習
- b. Hearing 練習 (英文を聞いて、その内容を自分の英語で表現したり、質問に答える)
- c. 会話の基礎表現の練習
- d. 簡単な個人の speech とそれに関する質問と応答

独 語 (2単位)

中級の読み物を読む

仏 語 (2単位)

中級の読み物を読む

[備 考]

英語は、 $\alpha - 2$ 講座、 $\beta - 3$ 講座、 $\gamma - 1$ 講座、 $\delta - 1$ 講座を置き、講座数はこれ以上ふやさないで、場合によっては人数に制限を加えることがあることをあらかじめ諒承してもらいたい。

数 学 次の3種類の講座を置く

α 講座 (3単位)

数学Ⅲを履修する

β 講座 (3単位)

数学Ⅱ_Bを履修する

γ 講座 (6単位)

数学Ⅲ(3単位)と数学Ⅱ_B(3単位)とを履修する

数数学Ⅲの内容は、数学Ⅱ_Bの微積分を更に発展させた内容と、将来文科方面に進む場合にも必要となる確率や統計が含まれている。 α 、 γ とも同程度の内容を取り扱う予定である。

β 、 γ の数学Ⅱ_Bの内容は、問題演習により数Ⅰを基礎にして、集合、方程式の理論、複素数、ベクトル、二次曲線、数列、および微積分の応用などを含み、思考力、判断力、応用力を身につけることを考えている。

物 理 (2 単位)

電気と磁気 (約 15 時間) , 電磁誘導と電磁波 (約 12 時間) , 物質の構造 (約 15 時間) , 光とレンズ (約 8 時間) を内容とする。内容に比して時間数が少ないので , 2 年時よりは速度をかなり速くする。十分復習することを望んでいる。問題演習を課す。理由なく欠席したり遅刻の多いものや、レポートを提出しないものには単位を認定しないことがある。

世界史 「現代史」 (1 単位)

1870 年代いわゆる帝国主義時代から現代に至る過程をとりあつかう。

音 楽 (2 単位)

個人別指導をする。

美 術 (2 単位)

一人一人の志向と特性に応じて指導する

工 芸 (2 単位)

木工を通じて造形一般の技術を養う

書 道 (2 単位)

二年の勉強を拡大して、創作作品をためてゆく。表具等して研究発表をする。

〔注意〕 数学は α , β , γ のうち 2 つ以上を選ぶことはできない。

音楽、美術、工芸、書道、独語、仏語のうち 2 つ以上を選ぶことはできない。

科目選択のために (2年生用)

1. 必修として選択履修しなければならない科目

家庭 「家庭一般」(2単位) (女子のみ)

一年にひきつづき家庭生活に必要な基礎的知識、技術を学ぶ。

1. 食生活の経営は調理実習を主とし、自主的、研究的に行う。
2. 衣生活の経営は被服材料・被服計画・被服整理などの基礎的知識と共に、正しい衣生活について考える。

被服製作は自由教材で一点完成する。

3. 保育では乳幼児保育の基礎知識を学び、正しい保育のあり方について考える。

音楽 (2単位)

α講座 一年の基礎の上に立ち、混声合唱、リコーダー奏法、およびグループ別的小アンサンブルを中心とした授業を行なう。

β講座 バイオリン、ビオラ、チェロ、ベースによる弦楽合奏を行なう。もちろん初心者でもよいが、バイオリンの経験者はすすんで選択してほしい。楽器は学校の備品として若干用意がある。初心者は基礎的な技法から指導する。

美術 (2単位)

一年の授業を土台にして、それぞれの個性を高める。

工芸 (2単位)

木工を通じて造形一般の技術を養う。

書道 (2単位)

各々、自分のやりたいことをどんどん進めてゆく。

大字、創作をする。又、印を刻したり、身につく創作をする。各グループに分かれ研究活動もする。(変体仮名等も覚える)

〔注 意〕 上の家庭、音楽α、音楽β、美術、工芸、書道のうちどれか一科目を必ず選択し、履修しなければならない。

2. 自由に選択できる科目

英 語 （2単位）

Essay などの材料を通じて、英米の風俗・習慣、ものの考え方などを理解するとともに、標準的な現代英語の語法などを勉強する。

47年度に使用する教材は未定である。参考までに46年度のをあげておく。

L.Tolstoy 「A Prisoner in the Caucasus」

M.A.Trapp 「Trapp Family Singers」

P.Milward 「Things Wise and Otherwise」

独 語 （2単位）

初級文法および簡単な読物

仏 語 （2単位）

初級文法および簡単な読物

数 学 「数学Ⅰ演習」（2単位）

問題集、プリント等の適当なテキストを用いて、数学Ⅰの全範囲にわたって基本事項の復習をするとともに、問題演習によって数学的な思考力、判断力、応用力を身につけることを目的とする。

「演習」が授業の中心となるので、数学の学習意欲の低い者にとっては苦痛となるであろう。

なお、単位は「数学Ⅰ」の増加単位となる。

〔注 意〕 英語と数学の両方を選択することはできない。また、独語と仏語についても同様である。

科目選択のために （1年生用）

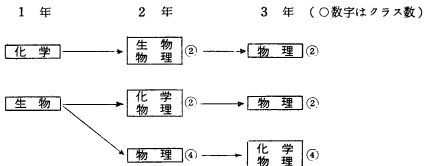
第1学年には必修として選択履修しなければならない科目として理科と芸術がある。それぞれ1科目を選ばなければならない。

1. 理 科

化 学 （4単位） クラス数 2

生 物 （4単位） クラス数 6

1年生の選択によって2、3年生では下ようになる。



生物 } は各学年4単位、物理は2年3単位、3年2単位である。
化学

2. 芸 術

音 楽 （2単位）

次の内容を学ぶ。

1. リズム練習を主とした音楽の反応力を高める基礎的な学習
2. 混声四部合唱
3. リコーダーによるバロック器楽曲の奏法

美 術 （2単位）

油絵を主体とする。とくに構成と色彩の関係を指導する。

工 芸 （ 2 単位）

木工を通じて造形一般の技術を養う

書 道 （ 2 単位）

今迄、身についた悪癖を取り払う。

人の真似をせず自分の力で書いてゆく。

心を平気にし、自信を持って書けるようにする。

又、大昔のいい作品を見て、書とはどういうものか、生命力と作品の関係を考えてみる。

MEMO